



2024年3月期 決算補足説明資料

2024年5月13日
株式会社レスター



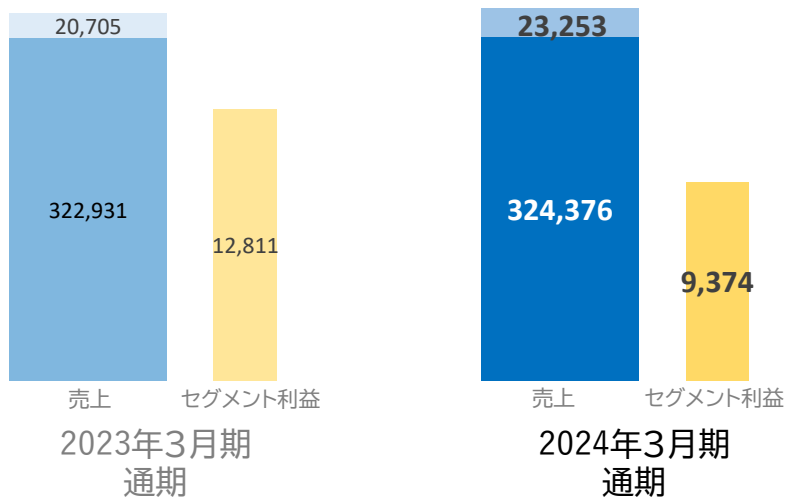
2024年3月期 連結業績ハイライト(累計)

売上高は調達事業の好調や半導体及び電子部品事業における連結子会社化が寄与し増収、営業利益は増収による増益と環境エネルギー事業の寄与により増益、いずれも過去最高

- 売上高
主に調達事業の好調、さらには半導体及び電子部品事業において都築エンベデッドソリューションズ株式会社(現 株式会社レスターエンベデッドソリューションズ)を連結子会社化したことも寄与し、売上高は過去最高(前年同期比 5.2%増)
- 営業利益
増収による増益と環境エネルギー事業の寄与により過去最高(前年同期比 10.5%増)
- 経常利益
借入金の増加や金利上昇に伴う支払利息の増加などにより減益(前年同期比 19.5%減)
- 親会社株主に帰属する当期純利益
固定資産の売却や政策保有株の売却などの特別利益の計上もありほぼ横ばい(前年同期比 1.1%減)

単位:百万円	2023年3月期 通期		2024年3月期 通期		前年同期比	
	金額	売上比	金額	売上比	増減額	増減率
売上高	487,129	—	512,484	—	25,354	5.2%
売上総利益	40,484	8.3%	45,270	8.8%	4,786	11.8%
販売管理費	26,061	5.3%	29,340	5.7%	3,278	12.6%
営業利益	14,423	3.0%	15,931	3.1%	1,507	10.5%
経常利益	12,043	2.5%	9,690	1.9%	△2,353	△19.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	7,085	1.5%	7,004	1.4%	△80	△1.1%

(単位:百万円)



デバイス

デバイス事業は車載向けが好調に推移した中、産業機器向けやPC向け及び通信機器向けなどの販売が減少したものの、都築エンベデッドソリューションズ株式会社(現 株式会社レスターエンベデッドソリューションズ)の連結子会社化が寄与し、やや増収

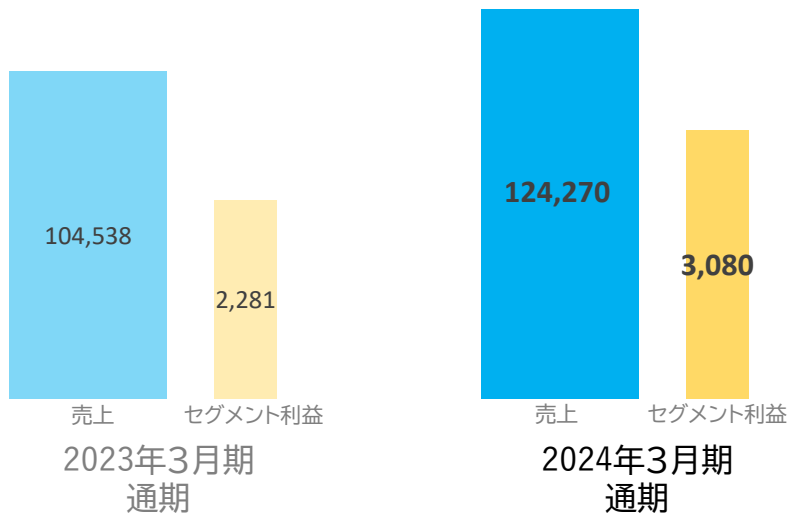
EMS

主力のスマートフォンならびに車載向けディスプレイの新規顧客への展開もあり増収

セグメント利益

デバイス事業における為替動向による売上総利益の減少や前年同期の特需が剥落したこと、さらには得意先に関連した在庫評価減並びに貸倒引当金の計上により減益

(単位:百万円)



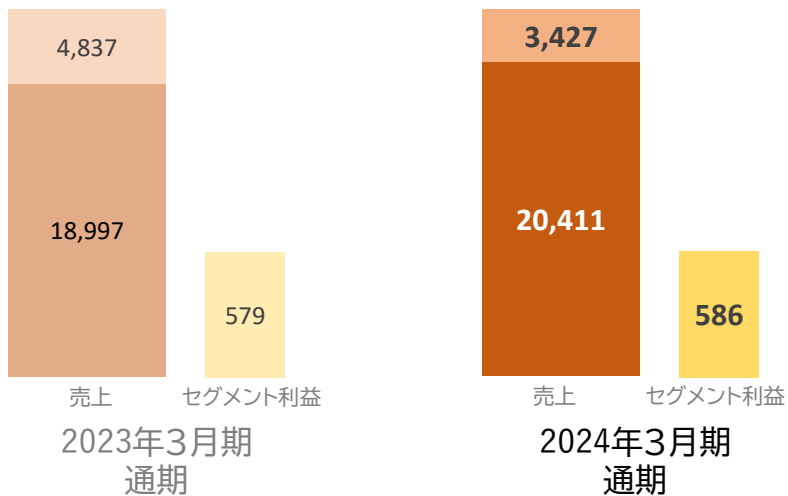
調達

引き続き主要顧客向けの車載需要が好調に推移したことにより増収

セグメント利益

増収により増益

(単位:百万円)



電子機器

主に医療向けや企業向けなどの伸長により増収

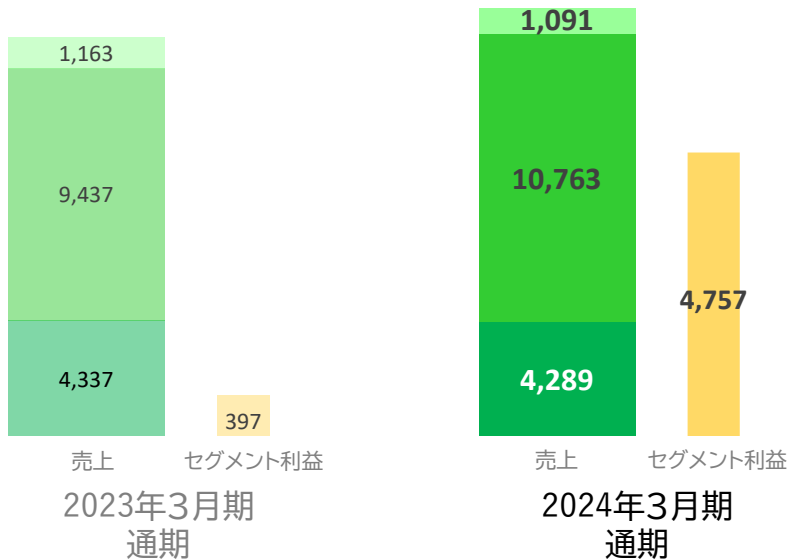
システム機器

海外製決済端末の売上増加があったものの、マイナンバー個人認証関連製品における前年同期の特需が剥落したことにより減収

セグメント利益

主にプロダクトミックスの改善によりやや増益

(単位:百万円)



エネルギー

国内外の太陽光発電の新規稼働もあり堅調に推移したものの、設備販売の減少によりやや減収

	4Q FY22	4Q FY23	YoY		
エネルギー事業(百万円) (新電力への売上含む)	5,428	5,459	31	0.6%	
太陽光発電量 (MW)	国内	151	0	-	
	海外	33	37	4	11.8%
	合計	184	188	4	2.1%

新電力

官需を中心に堅調に推移し増収

植物工場

大手の業務用スーパー向けを中心に販売拡大があったものの、コンビニエンスストア向けの減少や能登半島地震による操業の影響もあり、やや減収

セグメント利益

新電力事業の電力仕入価格が安定していたこと、ならびに保有電源の寄与を主な要因として大幅な増益

連結貸借対照表

資産：現金及び預金、売掛金及び電子記録債権の増加、商品及び製品の減少

負債：短期借入金、未払法人税の増加

単位:百万円	2023年3月末	2024年3月末
資産の部		
流動資産	210,816	235,822
固定資産	58,611	57,642
資産合計	269,427	293,464
負債純資産の部		
流動負債	162,439	182,267
固定負債	21,892	20,172
純資産	85,095	91,024
負債純資産合計	269,427	293,464
自己資本比率	30.0%	28.7%

(単位:百万円)

現金及び現金同等物の期首残高 31,984

■営業活動によるCF 15,460

>主に税金等調整前当期純利益、棚卸資産の減少、仕入債務の減少

■投資活動によるCF △7,099

>主に有形固定資産の取得による支出・売却による収入、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出

■財務活動によるCF △2,310

>主に短期借入金の純増加、長期借入金の収入と返済による支出、配当金の支払

■換算差額等 1,437

■新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額 298

現金及び現金同等物の期末残高 39,771

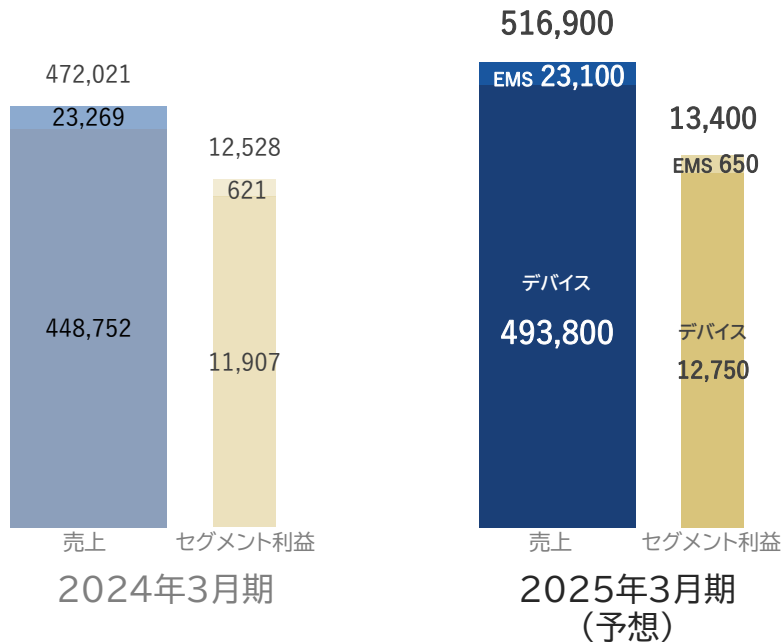
単位:百万円	2024年3月期 通期	2025年3月期 通期	前期比
	金額	金額	
売上高	512,484	560,000	9.3%
営業利益	15,930	16,000	0.4%
経常利益	9,690	10,500	8.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	7,004	8,000	14.2%

■ 2025年3月期見通しポイント

売上高と営業利益及び親会社株主に帰属する当期純利益については過去最高を更新する見通し

デバイスビジネスユニット

(単位:百万円)



重点取り組み

EMS

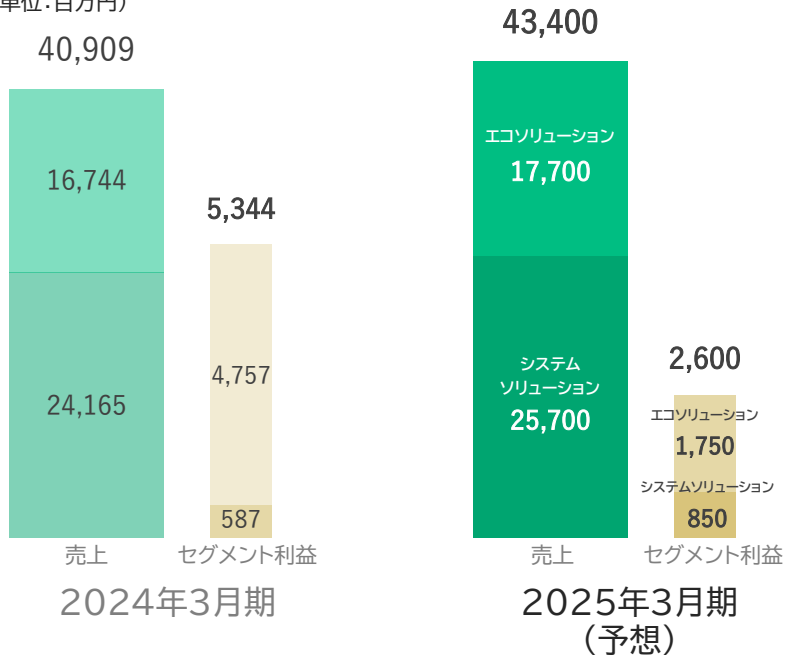
- 生産ラインの合理化
- 集中と選択及び車載向けなど新規事業の拡大

デバイス

- グループシナジーの更なる加速、クロスセル戦略
- 産業機器、車載市場における顧客深耕と新規事業の拡大
- グローバル展開に向けた取り組み促進
- サプライチェーンマネジメントサービスを基盤としたグループシナジーの伸展
- 付加価値提供によるビジネス領域の拡大

システムビジネスユニット

(単位:百万円)



重点取り組み

エコソリューション

- PPA(電力販売契約)事業の拡大
- 蓄電池を活用した新たなエネルギーマネジメントシステムの構築・提供
- 安定した電源の確保
- 電力システム改革への対応
- 生産効率アップと収益化

システムソリューション

- 新たなビジネスモデルへの挑戦
- トータルソリューションプロバイダーの機能拡充
- 決済端末を活用した新規ビジネス領域の開拓
- 認証端末ならびに決済機器の自社製品開発による新市場開拓

連結業績予想に基づき財務の安定性を重視

- ・配当の実施や自己株式取得の検討等、株主への還元向上
- ・積極的な戦略投資とともに、適正な資本配分の継続的な見直しを進める
- ・一層の利益の拡大と資本効率の改善を通じた企業価値向上の実現を目指す

	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期末	合計
2025年3月期予想	60円00銭	60円00銭	120円00銭

レスターグループ 経営理念

Mission
ミッション

情報と技術で、新しい価値、サービスを創造・提供し、
社会の発展に貢献します

Vision
ビジョン

あらゆるニーズに対応できる
「エレクトロニクスの情報プラットフォーマー」を目指します

世界・社会貢献・共創と革新

Values
バリュー

多様な考えを受け入れ、共創を通じて、新しい文化や価値を創り出します

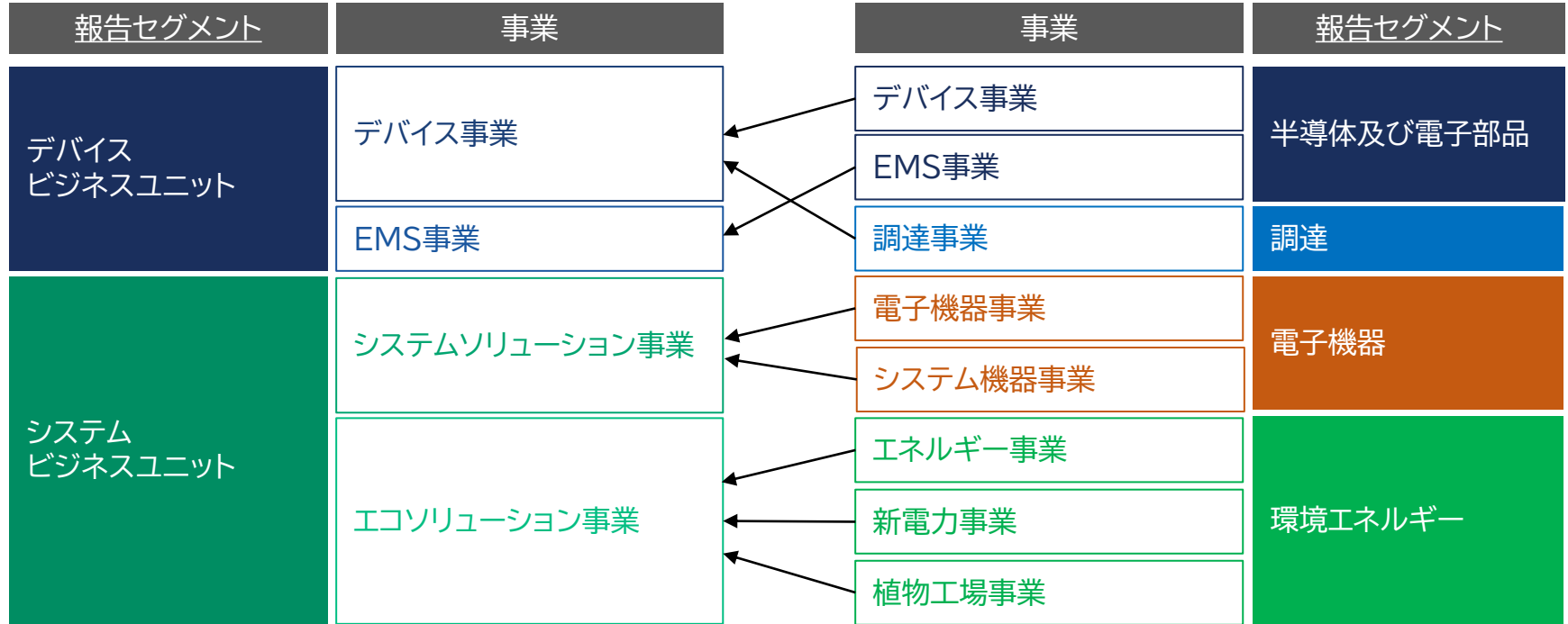
常に高い目標を掲げて、革新的な発想と情熱で、挑戦し続けます

活躍の場を世界へと広げ、持続可能な社会の発展に貢献します

2024年4月、事業再編前・後の開示セグメント

事業再編後 (2024/4/1～)

事業再編前 (2019/4/1～2024/3/31)



<お問い合わせ先>

レスター 広報・IR部

Mail to : irpr@restargp.com

<将来の見通しに関する注意事項>

このプレゼンテーションに掲載されている当社の現在の計画、見通し、戦略は、将来の業績に関する見通しであり、これらは現在入手可能な情報から得られた当社の判断に基づいております。

実際の業績は、様々な外部要因、内部要因の変化により、これらの業績見通しとは異なる結果となる可能性があります。

実際の業績に影響を与える重要な要素には、世界・日本経済の動向、急激な為替相場の変動並びに戦争・テロ活動、災害や伝染病の蔓延等があります。

本資料・データの無断転用はご遠慮ください。